

令和元年6月28日

「(公社)全日本トラック協会青年部会 関東ブロック大会」開催

関東トラック協会青年部会（結城賢進会長）は、6月28日（金）、ホテル木暮（群馬県渋川市）で「第31回（公社）全日本トラック協会青年部会・関東ブロック大会」を開催した。

大会は「誇りを形に！！～物流の未来へ～」をスローガンに、関東ブロック各都県青年組織に所属する会員など210名が出席した。

研修会の部では、まず関東トラック協会青年部会 磯野哲也副会長（群馬）により開会が宣言され、続いて結城会長からの主催者挨拶、国土交通省関東運輸局自動車交通部 永島和弘次長、全ト協 藤原利雄常務理事からの来賓挨拶が行われた。続いて、関東トラック協会青年部会にて集めた募金による（公財）交通遺児等育成基金への寄付金贈呈式が行われ、併せて同財団より感謝状が授与された。

引き続き、「群馬大学が目指す自動運転の未来」をテーマに、群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター 太田直哉センター長の講演が行われ、太田氏は、自動運転自動車の開発の歴史や同大学での研究の現状、今後の普及予想を説明し、「自動運転の確実な予想は不可能だが、研究者としていくつかのシナリオを考え、情報の収集、分析を続け対処法を考えていく必要がある。」と結論付けた。

続いて、関東トラック協会青年部会 金井健蔵研修委員長が3つの大会宣言を読み上げ、満場一致で採択された。さらに青年部会大会旗が結城会長から次ブロック大会開催地である北海道トラック協会青年部連絡協議会 杉本憲昭会長に伝達され、関東トラック協会青年部会 渡辺知希副会長が閉会を宣言し、研修会を終了した。

研修会後の交流会では、群馬県トラック協会 武井宏会長が挨拶を行い、参加者全員で交流を深めた。



主催者を代表して挨拶する結城会長

公益社団法人全日本トラック協会青年部会 関東ブロック

主催：関東トラック協会青年部会 後援：公益社団法人全日本トラック協会



(公財)交通遺児等育成基金へ寄付金の贈呈を行うとともに
同財団から感謝状を授与



群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター
太田直哉センター長による講演の様様



関東トラック協会青年部会研修委員長 金井健蔵氏による大会宣言読み上げ



結城会長から北海道トラック協会青年部連絡協議会 杉本会長へ
青年部会大会旗を伝達



関東ブロックの青年経営者ら210名が参加

以上